VW GOLF VII R

キッカーによるスピード感あるサウンドは速さを追求したクルマとのイメージもぴったり

CALL>>APPLAUSE(アプローズ)[03]3330-2355　https://applause-audio.com　TEXT>>YASUHIRO TSUCHIDA(土田康弘/タキル)　PHOTO>>RYUUSEI WATABE(渡部竜征/ウィズフォト)

VW GOLF Ⅶ R 2014

WHEEL AGIO Competizione NMF.2 >>F&R:18×8 **TIRE** Hankook Ventus R-S4 >> F&R:225/40R18 **BRAKE** STOPTECH TROPHY Kit **EXHAUST** VW Racig **ENGINE** VW Racing **AUDIO** SPEAKER KICKER >> KSS6704,CSC674 SUBWOOFER KICKER >> CWRT8 POWER AMPLIFIER ARCAUDIO>>XDi450.4JE,XDi450.4 SOUND PROCESSOR HELIX>>DSP

フロントスピーカーにはキッカーの2ウェイセパレートスピーカーだるKSS6704をチョイス。ミッドバスはドアの純正位置に、トゥイーターはドアミラー裏を加工してインストールする。ダッシュ下部のポケット部にはヘリックスのDSPをコントロールするダイレクターをビルトイン。音調整のメモリー切り替えなどを行うことができる。ラゲッジにはフロア下にオーディオボードをフラットに組む。キッカーの8インチサブーファーであるCWRT8を後方に、前方にはヘリックスのプロセッサーを中心に、左右にはARCオーディオのパワーアンプ×2台を設置。間接照明を使って各ユニットを浮かび上がらせている。またカバーを施せばフラットな荷室を作れるため積載性も確保しているのも魅力。

吸気系にも手が加わる。VWレーシングのR600コールドエアインテークキットを投入して吸気効率もアップ、同時にインタークーラーにもVWレーシングをチョイス。ブラックフォレストのシフトノブや社外のパドルシフトを装着し、インテリアは、スポーティーな仕様としている。

あくまでも純正を崩さず普段使いしやすいクルマ作りを目指したのがオーナーの望み。ホイールや車高などにもその思いが表れている。

純正ヘッドを使いつつ調整幅を大きく広げたシステムデザインに注目

オーナーにとって初の本格的なオーディオインストールだったこともあり、普段使いできて大幅な加工を加えない純正ライクな仕上がりを求めた。そこで製作ショップである東京都の「アプローズ」がゴルフⅦに対してとった作戦は純正ヘッドユニットを使って良い音を再生するシステムだった。加えてオーディオプロショップでありがちなリアスピーカーをカットするのでは無く、前後スピーカーを高音質化するという“後席にも優しい”システム構成にしたのも特徴と言えるだろう。

キーワードになるのはVW純正のディスカバープロからのオーディオ信号をラインドライバーで昇圧、さらにヘリックスのDSPに入力し、多彩な調整を施した上でARCオーディオのパワーアンプへ出力するというシステム。純正ヘッドユニットの使い勝手はそのまま残しながらDSPを投入することで、調整機能の少ない純正ヘッドを補い、タイムアライメントやクロスオーバー、イコライザーといった細かな調整を可能にしたのが特徴。目の前にクリアな音像が現れるサウンドが作り出せるのも、このシステムのおかげなのだ。

音質に大きな影響を与えるスピーカーに選んだのはアメリカンブランドのビッグネームであるキッカー。フロントにはKS、リアにはCSシリーズをチョイスし、スピード感とメリハリを感じさせるサウンドを再生する。サウンドセッティングの方向性は「クラブサウンド」。クラブ好きなオーナーのために、クラブのフロアで体感するような濃密なサウンドを作り上げたのも特徴だ。

そんなゴルフⅦは内外装へのカスタムも普段使いを強く意識しつつ「速さ」を追求するのがテーマ。吸排気系、インタークーラー、コンピュータをVWレーシングのパーツ群でまとめ、強力なパワーを引き出す。加えて制動力の確保のためにストップテックのブレーキシステムを投入。走る止まるを確実にレベルアップしたチューニングが光る。

足まわりにはあえて18インチをチョイス、ハイトのあるタイヤで高速移動での快適性を確保するのもオーナーの望み。外装には大幅な加工を施すのでは無く、フロントバンパーをナンバーレス仕様にするといった純正フォルムを残したスタイリングを追求するのもオーナーの狙い通り。

サウンドから内外装まで、純正の使い勝手やストックフォルムを残しつつオリジナル化を果たしたゴルフⅦ。コンセプト通りの車両に仕上がった。

❶ホイールはアジオ コンペティティオーネNMF.2をチョイス。ストップテックトロフィーキットのブレーキシステムも絶妙のセッティングで組み合わされている。❷フロントバンパーはスムージング処理によるナンバーレス仕様。❸排気系にはVWレーシングのエキゾーストシステム投入。排気効率を引き上げてパワーを引き出す。